

笠井 創



Q

午後にひどくなる耳の違和感とめまい。何かの病気？

34歳の女性。3カ月前から右耳が詰まった感じがあり、呼吸をするたびに鼓膜がポツポツとふくれる感じがします。寝ている間や朝方はよいのですが、日中、特に午後になるとひどくなります。最近疲れがたまっており、時々フラフラするめまいもあるのですが、どんな病気が考えられるでしょうか。

(福岡 ー)

A

耳管が開きっぱなしになる耳管開放症。疲労や急な減量で起きやすい

耳管機能障害の中でも特に耳管開放症が考えられます。耳管は中耳との鼻の奥でつないでいる管で、普段は閉じていますが、嚥下時に開いて、中耳の内圧と外気圧を一定に保つ機能があります。耳管開放症は通常閉鎖している耳管が開きっぱなしになっている状態で、様々な症状が起こります。自分の声が大きく聞こえる、耳閉塞感、呼吸に伴ってゴーゴ—とかスースーという耳鳴、甲高い声や大きな音が耳に響き、ときに痛みを感じる、難聴、めまい感などが主な症状です。これらの症状は体位の変換によって変化し、寝た状態や頭を下げた姿勢で軽快あるいは消失します。起きると再び症状が出ますが、立っている状態の続く午後のほうが強くなります。お風呂に入ると一時的に良くなりますが、激しい運動をしたりすると悪化します。この病気は女性に多く、妊娠中にも起こりやすいようです。疲れや睡眠不足の状態が続いたり、急に体重が落ちたりすると起こりやすくなります。ストレスが原因になっている場合も多く、肩こり、頭痛、手足の冷え、立ちくらみなどは、自律神経失調症や不定愁訴と間違われることもあります。症状が典型的な場合は問診だけでも判断できますが、耳鼻咽喉科では、呼吸とともに動く鼓膜の動きを詳細に観察したり、耳管機能検査などを行います。

耳管開放症の治療には、現在のところ決定的な方法はありません。耳鼻咽喉科では耳管に薬剤を塗布したり、耳管開口部に対する処置や漢方治療などが行われます。体重減少による耳管周囲の脂肪組織減少による場合は、体脂肪を増加させることも一つの治療法になります。